

コード No.21-S-005

提出日：令和 4年 4月 30日

## 令和 3 年度「コロナ感染症による困窮者への収入向上をめざした農産物加工生産事業」報告書

団体名：特定非営利活動法人地球の友と歩む会

記入者名：米山 敏裕

### 1. プログラムの目的

現地 NGO が支援をおこなってきた小規模 150 農家への有機農法による研修や流通面の活動も 2 年前に終了したが未曾有の新型コロナウイルス感染症拡大によって農村地域でも影響を受け、感染症に罹患したり、人の移動が制限されて農産物の運搬も不可能になった時期もあった。また、市内にある野菜店舗もコロナ感染症の影響で野菜購入者も激減して農家の収入も減り困窮化していった。しかし、継続的に農産物の生産はおこなわれていたのでそれら農産物を長期的に保存したりするために加工品として生産することにした。そのために加工する機器の調達、操作技能を修得して加工品生産を継続的にこなえる体制づくりを今回の助成事業でおこなっていった。

### 2. 主な活動内容・スケジュール

#### ① 農家への活動趣旨説明、オリエンテーション

150 の農家に今回の緊急時における対策として農産物を有効に活用するためにどのような方法があるか、どのような農産物が加工に向いているか、耕作品目の選定、達成目標の決定等を参加農家間で協議。〈2021 年 4 月に集会の開催、協議〉

#### ② 短期間で栽培、収穫ができる農産物の選定と植栽〈5 月～8 月〉

#### ③ 加工品にするための農産物の収集、加工技術訓練を専門家より受ける

搾油機の操作訓練、マサラ用粉碎機の操作訓練〈8 月～10 月〉

搾油用材料としてゴマ、ピーナッツ、ココナッツを調達

マサラ用としてチリー、ターメリック、赤、青唐辛子、コリアンダー、モリ  
ンガの葉、

ハーブ類の葉、ピクルス用ライム、パパイヤ

#### ④ 加工品の商品化、バック詰め、店舗販売〈11 月～3 月〉

#### ⑤ 今後の生産計画

継続的な加工品生産のための農産物選定、各農家の生産体制（品目、量調整等）を協議 2022 年 4 月以降の計画について協議

3. 助成を受けた活動の報告 (様子がわかる写真等があれば貼付してください)



ゴマ、ピーナッツ、ココナッツからの搾油について訓練を受ける参加者



マサラづくりの技術訓練を受ける女性グループメンバー実習風景



粉碎された唐辛子を調合する実習する風景



ライムのピクルスづくりをする女性グループメンバー



加工された製品は市内のオーガニックショップで販売されている  
ゴマ油、ココナッツ油、ピーナッツ油、マサラ、ピクルス、ハーブ等


4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

この度の支援事業において 150 農家のうち 147 農家が加工品生産に参加し、また 2 カ村のそれぞれの女性の自助努力グループ SHG メンバー 28 名が参加して継続して生産加工ができるようになり、各農家の収入向上につなげていくことができた。これらの成果は当会の会報誌（4月に発行）に紹介していった。報告書送付時に同封させていただきました。また、2月の運営委員会では支援事業の進捗について報告し、その際提出した資料も同封しました。

5. 今後の課題

継続的に生産、販売が可能になるように当会でもモニタリング、アドバイスをおこない今回の事業がインド国内でもモデル事業になり認知され、発展していけるよう見守っていく予定です。

## 令和 3年度会計報告書

被助成者:理事長 横山 計三   
 特定非営利活動法人地球の友と歩む会

コード番号:21-S-005

(単位:円)

### ＜収入の部＞

項目	予算	決算	備考
1. 助成金		980,000	
2. 預金利息		0	
合計		980,000	

### ＜支出の部＞

費目	予算	決算	内訳・備考
1. 人件費	協力者謝金 180,000	179,712	コーディネーター手当:令和3年4月~4年3月(領収書 No.1,5,11,16,23,26,29,32,35,37,41,44)
	補助者謝金 75,000	23,400	研修講師謝礼:領収書No.21B,21C 3,900/日x3日x2名
2. 旅費	国内		
	国外 60,000	60,000	国際線航空運賃(成田⇄チェンナイ):領収書No.47
3. 機械・器具 備品費/文献費	483,000	515,736	什器備品代:計測器:領収書No.8, 搾油機購入費、取り付け費:領収書No.15, 粉碎機2台 領収書No.20, 器械器具備品電気配線工事費:領収書No.19
4. 研究委託費			
5. 会議費		37,206	研修参加者食事代:領収書No.4,21D
6. 資料費			
7. 印刷・複写費			
8. 交通・通信費	12,000	40,800	コーディネーター交通費:領収書 No.2,6,12,17,24,27,30,33,36,39,42,45 日本事務局電話代:領収書No.48
9. 消耗品費	150,000	49,842	肥料袋代:領収書No.9, 有機肥料梱包カバー代:領収書No.10、搾油用ピーナッツ購入費:領収書No.21A, 搾油用ゴマ購入費:領収書No.22
10. 雑費	20,000	76,128	事務所光熱費:領収書 No.3,7,13,18,25,28,31,34,37,40,43,46 感染症予防備品代:領収書No.14

合計	980,000	982,824	
----	---------	---------	--

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

備考: 現地通貨Rs.ルピーから円への換算レート=1.56円(送金時レート)

領収書No.1～46はインドからの領収書で単位はルピー(インド政府の規則で原本は国外に持ち出し禁止コピーを使用)なお、支出超過分は当会の自己負担。

2022/2/4 米山

運営委員会資料

## 庭野平和財団緊急支援助成事業進捗報告

今回のコロナ感染症の影響によって農産物生産販売が減少したり、生産農家の困窮化によって打撃を受けた150農家（2017年～2020年N連事業対象農家）の救済を目的として行った事業である。事業開始は2021年4月から2022年3月までの事業期間となっている。

### ■活動内容

- 1：142の農家を対象として農産物加工品を生産するための技能訓練
  - 2：具体的には農産物からの搾油による製品化
  - 3：搾油については2つのSHGから3名が参加して行われた。
  - 4：搾油から精製、パック詰め、市場に出荷するまでの行程の訓練を2021年10月17日～19日の3日間で実施
  - 5：マサラづくり：2つの村（マンマラスパティ村、エスバラス村）にあるSHGから28名のメンバーが参加して行われた。  
コリアンダー、チリー、グレイビー、サンバルパウダーづくり
- それぞれの活動をとおして経済的なメリットや加工品生産にたいする動機づけをすることができた。

### ■加工品生産のために集められた農産物

40kg コリアンダー、52kg 赤唐辛子、120kg タマリンド、180kg ゴマ  
700kg 落花生、50kg ココナッツ、10kg レモン（ライム）、5kg Bhend?、5kg ナス  
5kg クラスター豆、5kg 苦瓜、5kg チリー

### ■加工製品化された量

39kg コリアンダーパウダー、50kg チリー、120kg タマリンド、72リットルのゴマ油  
380kg のピナッツオイル、30kg のココナッツオイル、5kg レモンピクルス、  
6.5kg の乾燥野菜

加工された製品は Organic Shop や市内の有機農産物販売店に出荷された。また、今回の活動で加工品の生産が軌道にのり農家にとってもおおきな成果をとった。LIFEをはじめ助成団体へ感謝している。（現地 NGO 担当者）